

吾妻山の火山活動解説資料（平成 20 年 5 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図 2）

上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラでは、大穴火口（一切経山南側山腹）の噴気の高さは 30m 以下で、噴気活動は低調な状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図 3）

火山性地震は少ない状況が続いています。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 4～5）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

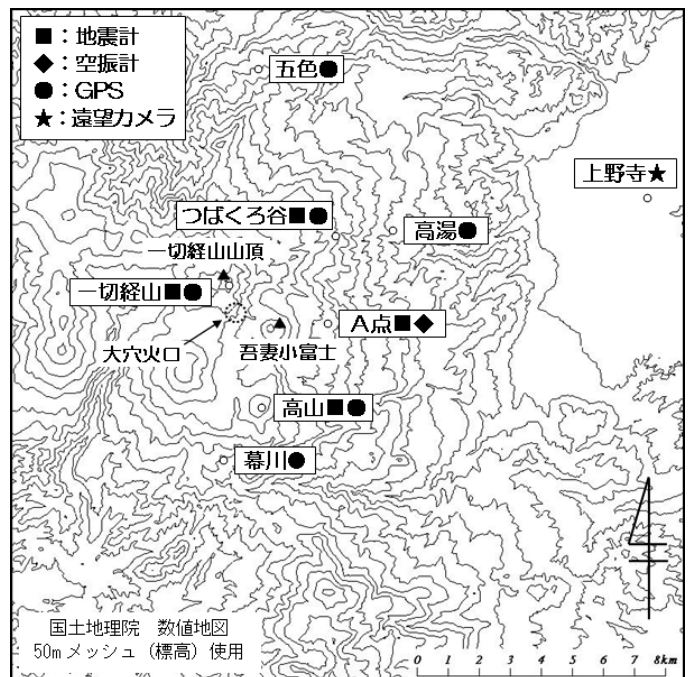


図 1 吾妻山 観測点配置図

・熱活動の状況（図 6～8）

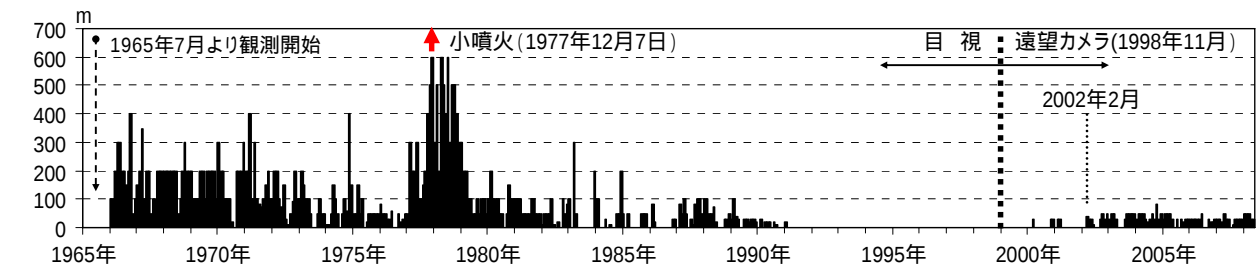
5 月 27～28 日に実施した大穴火口付近の現地調査では、地表面温度分布¹⁾、及び噴気、地中温度²⁾は前回（2007 年 8 月）と比べて大きな変化はありませんでした。

- 1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。
- 2) サーミスタ温度計による直接測定。サーミスタ温度計は、半導体の電気抵抗が温度変化する性質を利用して温度を測定する測器です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.sendai-jma.go.jp/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。
次回の火山活動解説資料（平成 20 年 6 月分）は平成 20 年 7 月 9 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 17 総使、第 503 号）。

本資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 25000（地図画像）福島」を複製したものです（承認番号 平 17 総複、第 650 号）。

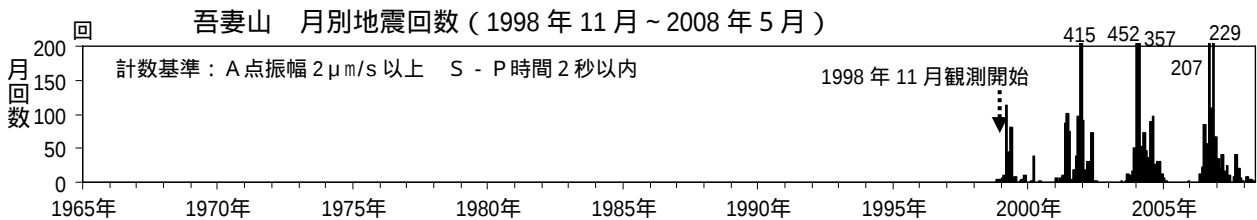
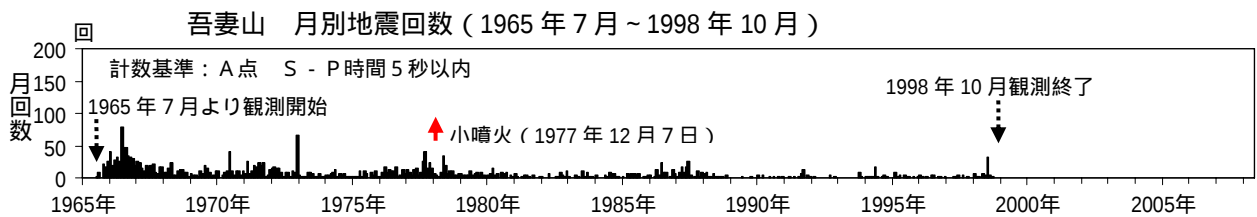


1998 年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約 20km）からの目視観測です。

1998 年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約 14km）による観測です。

2002 年 2 月以前は定時(09 時、15 時)及び随時観測による高さです。

2002 年 2 月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。



注) 1998 年 11 月に A 点を大穴火口の北東約 6 km から東南東約 2 km へ移設しました。

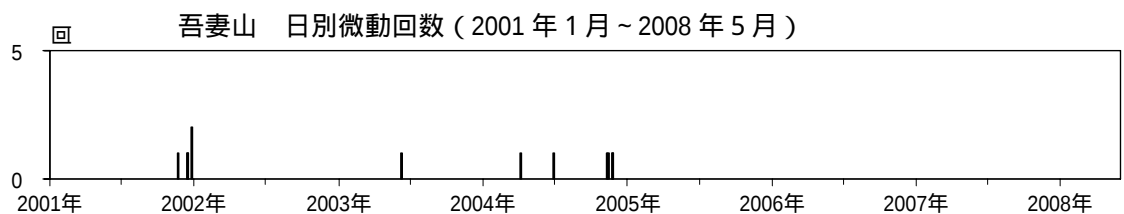
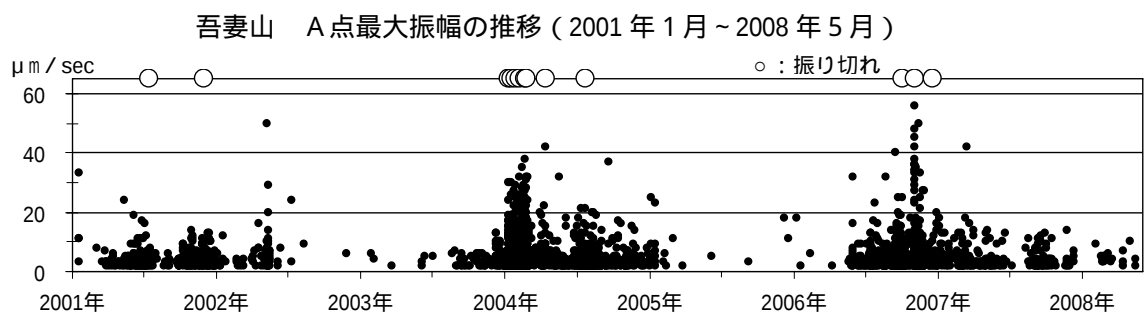
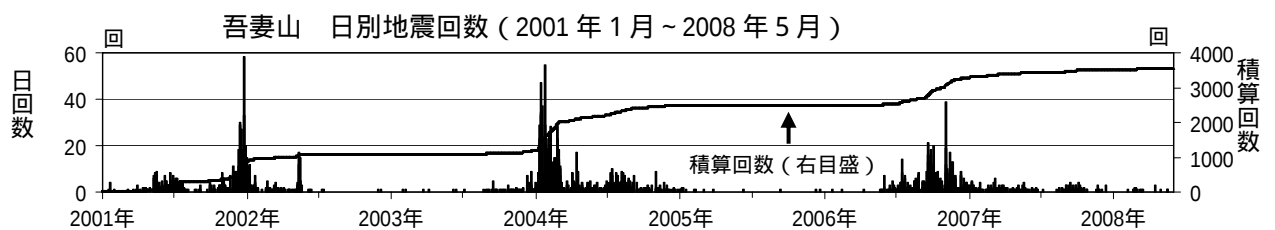


図 3 吾妻山の地震活動及び微動回数の推移

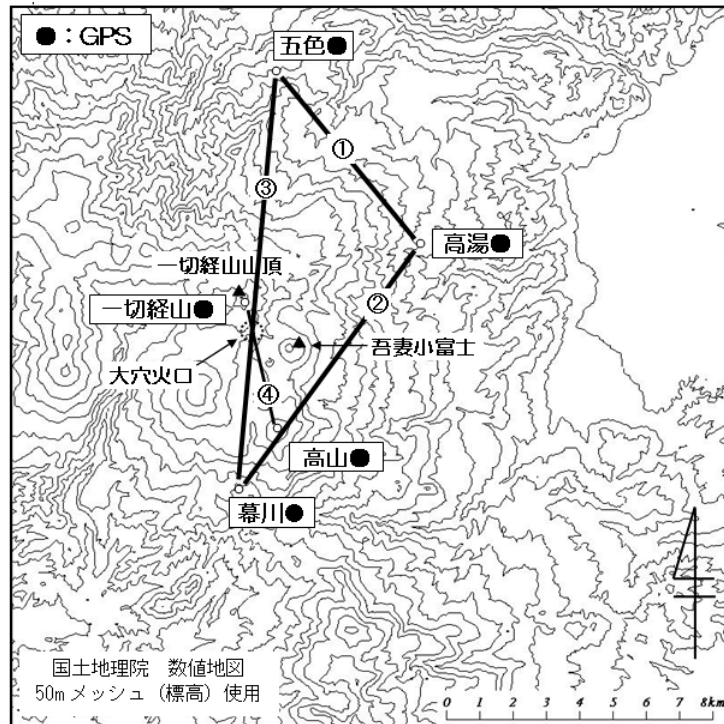


図 4 吾妻山 GPS 観測点配置図

GPS 基線 ～ は図 5 の ～ に対応しています。

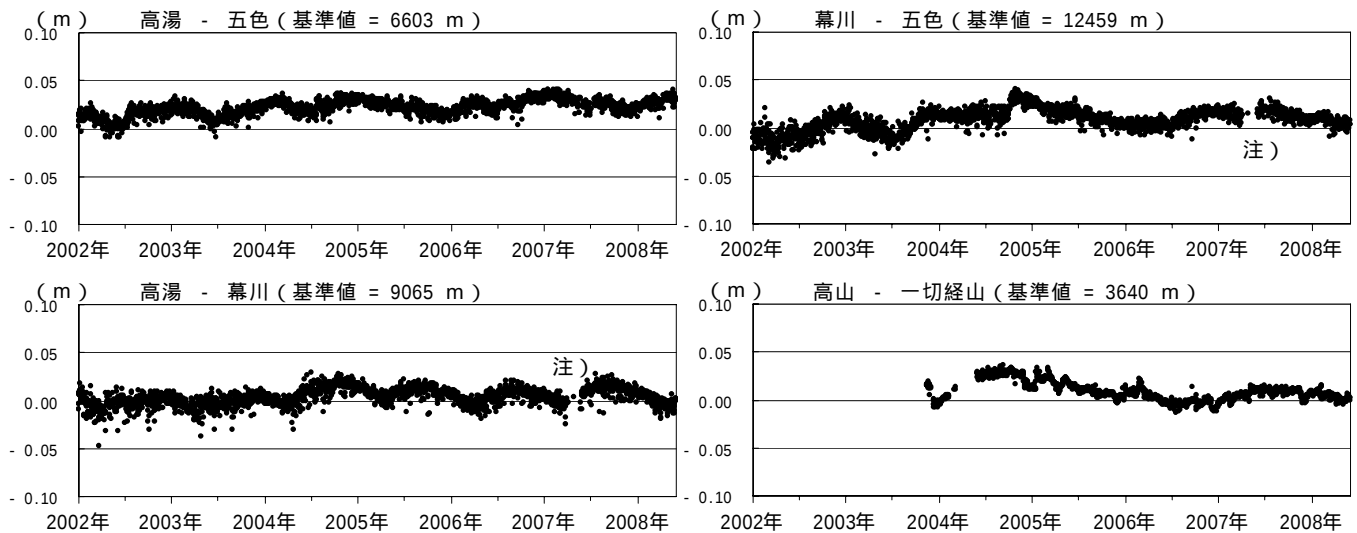


図 5 吾妻山 GPS 基線長変化図（2002 年 1 月～2008 年 5 月）

～ は図 4 の GPS 基線 ～ に対応しています。

注) 幕川観測点障害のため、一部に欠測があります。

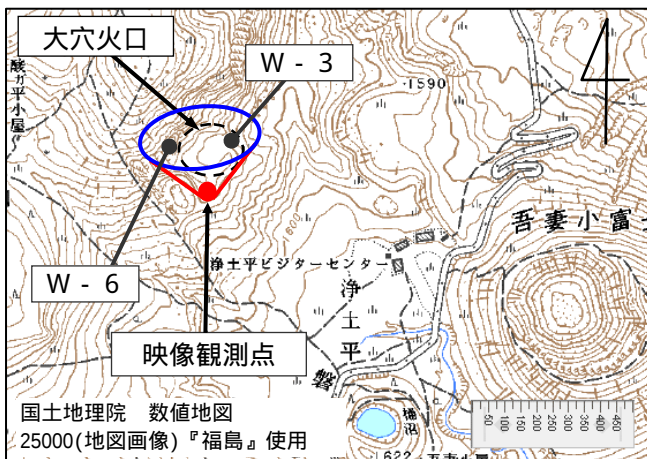


図 6 吾妻山 赤外熱映像観測地点図
 ○：大穴火口付近の赤外熱映像撮影範囲
 ▼：撮影方向

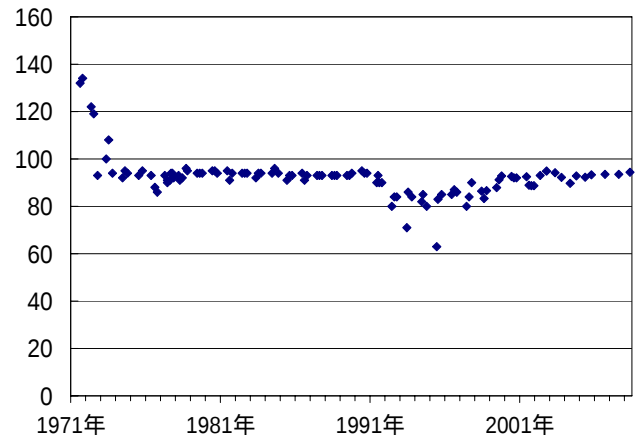


図 7 大穴火口縁（W - 3 b）の噴気温度変化図
 （1971 年 8 月～2008 年 5 月）

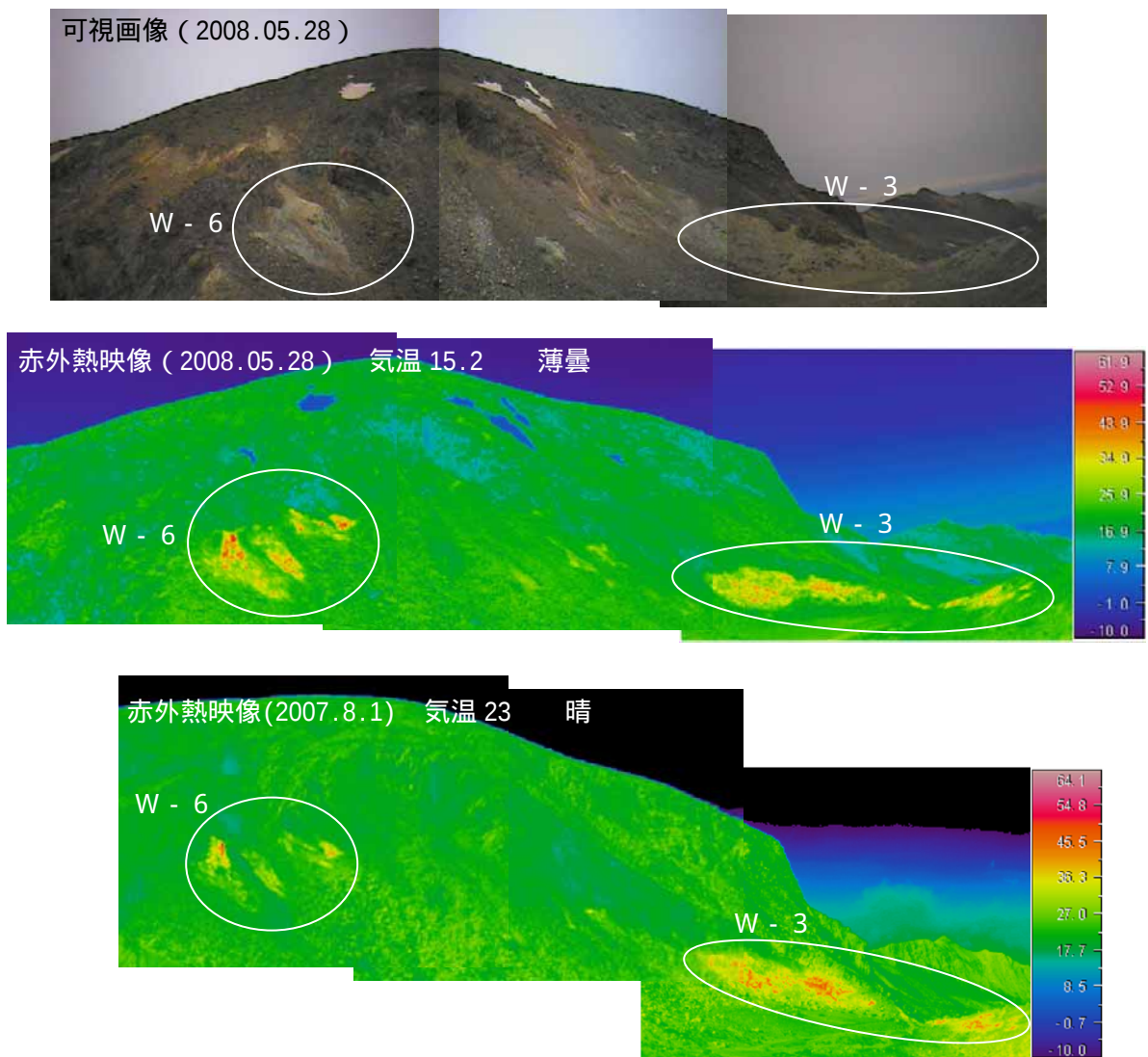


図 8 吾妻山 大穴火口付近の可視画像（上）と赤外熱映像による温度分布（中、下）
 ・上段、中段：今回 2008 年 5 月 28 日撮影、下段：前回 2007 年 8 月 1 日撮影
 ・赤外熱映像画像で色のついていない領域は周囲に比べて温度の高い領域（地熱地帯）を示しています。なお、日射の影響で観測点（W - 3、W - 6）以外でも温度が高くなっている所があります。